

サークル Circle クローズアップ 日・光・人 People 人



栗山の民話を語る会

活動内容 民話の披露
活動日数 月2・3回
活動場所 湯西川
会員数 7名
代表・問い合わせ先 浅野容宏(本家伴久萬
久旅館) ☎98-0011

栗山の民話を語る会(以下、語る会)は、栗山地域に語り継がれる民話を口伝で残そうと、平成15年に結成した語り部グループです。湯西川の旅館の若女将や主婦などを中心に、主に湯西川で活動しています。

語る会は、平家の里や、湯西川の夏のイベントである竹の宵まつりで民話を披露しています。また、湯西川小学校の児童へ民話の指導も行っています。「人前に出るのが苦手な児童もいましたが、今では栗山地域の市民文化祭で発表できるまでになりました。子どもたちが語り部を通して成長していく姿を見られることがうれしいですね」と代表の浅野さんは話します。

語る会の特徴は、会員の年齢が若いことです。浅野さんによると、「語り

部」というと少し年配の女性を想像するかもしれませんが、ほとんどが30歳代です。年齢の若い女性が語り部をやる意外性があって面白いんですよ。お客さんも喜んでくれます」とのこと。また、浅野さんは語り部の難しさを「湯西川の方言で語っていますが、その方言が難しいんです。なまりやアクセントなどを日々研究しています」と話してくれました。

最後にこれからの目標を伺うと「毎日上演して、観光客の皆さんに栗山地域の民話を披露したいです。それにはもっと会員を増やさなければいけないと思っています」と話してくれました。これから多くの人に栗山の民話を伝えていってください。

会員を募集しています

栗山の民話を語る会では、毎日の上演を目指し会員を募集しています。初めての方はもちろん、性別も問わないということです。民話に興味のある方ぜひ湯西川で語り部として活動してみませんか。



湯西川小学校の児童に民話を教えている様子。

古木 正之 さん 足尾町 在住

わたらせ渓谷鐵道沿線で開催されている「わたらせ渓谷鐵道各駅イルミネーション」。このイベントの副実行委員長、古木正之さんを紹介します。

わたらせ渓谷鐵道各駅イルミネーションは、5年前に始まった冬のイベントです。古木さんにイベントを始めたいきっかけを伺うと「当時から、南部地区親睦会の会長をしているのですが、東村(現・群馬県みどり市)の観光課の方から『わたらせ渓谷鐵道の利用客を増やすために、沿線の駅をライトアップしよう』という話をしてもらえなかった。地域の活性化になるし、お祭りが大好きなので、すぐに地域の人たちに相談しました」と話してくれました。そして、旧足尾町の協力も



あり、イベントが始まりました。

今年は、持ち回りで行われる点灯式が原向駅で行われたため、費用の調達や飾り付けなど例年以上にやるが増え大変だったそうです。「それでも、見に来た人が『わー、すごい!』と喜んでくれている姿を見ると、とてもうれしくなりますね」と笑顔になる古木さん。見どころについては、「キャラクターの電飾がある駅もあるんですよ。各駅ごとに違ったイルミネーションが楽しめます」と話してくれました。

最後に「イルミネーションは、電車の中から見たときに一番きれいに見えるように飾ってあります。駅だけでなく、原向駅から見える国道沿いの壁にも、ナイアガラの滝をイメージした青い電飾が飾ってあります。ぜひ、わたらせ渓谷鐵道に乗って見に来てください」と古木さん。このイベントは2月15日(日)まで行っています。皆さんも足を運んでみてはいかがでしょうか。



イルミネーションの飾りつけの様子。

市民文芸

川柳 選者 山本都留米

風上の下着のゴムが伸つきり 酒井喜麿
言い訳を見抜かれそうな氣の疲れ 湯沢和
ふと覗く手鏡母の顔が居る 石川みかん
鑑定に出さなきゃよかった骨董品 倉沢美江子
ニールック丸い背中じゃ服が泣き 小島幸子
誰でもいい景氣回復する總理 選者吟

俳句 選者 伊藤清

枯葉舞う向いのビルは梢ごし 福田美代子
石仏は半眼山の眠りそむ 上山淑子
東雲の厨の香り齋がゆ 渡辺ミチ子
ふつくと山重なりて眠りそむ 岡登美代
母の住む町鉛色冬の空 小檜山忠
風と来て風と去り行く落葉かな 星陽子

短歌 選者 阿久津伸一

長年の職を離れて時間を得しおもむくまに生きる幸せ 手塚賀子
三日月の出づる秩父は夜祭の日 渡辺文夫
古人も眺めし月か いしむと
半世紀前に教えていただきし恩師の短歌の重き悲しみ 本村晶子
今市の伝説歴史の著書残し渡邊武雄氏天命果たす 大森トミ子
昼ひらき夜は蕾のクロッカス卓に飾れば家族の如し 和田よし
木枯らしに吹き落とされし木々の葉は後に世継ぎの若芽育てし 佐々木清市

募集しています！

紹介したい方やサークルの情報をお寄せください。

※掲載にふさわしくない活動内容が含まれている場合、紹介をお断りすることがあります。

また、皆さんからの短歌・俳句・川柳の投稿作品もお待ちしております。氏名(ふりがな)、住所、電話番号を明記して、応募してください。

連絡先及びくわしくは
秘書広報課 広報広聴係
☎(21)5135・FAX(21)5109



市場初せり



1月5日(月)、新年を迎えた卸売市場で初せりが行われました。

初せり式では、卸売市場代表取締役の手塚庄右衛門さんから「時代が変わり市場の経営も厳しくなりましたが、これが現実。頑張っていきましょう」とのあいさつがありました。

せりが始まると、せり人の威勢のいい声が市場に響き、買い受け人たちは白菜やネギ、キュウリなどの新鮮な野菜を、次々とせり落としていました。

12月13日(土)・14日(日)の2日間、冬至にちなんで鬼怒川・川治温泉のすべての温泉がゆず湯風呂になりました。

14日は、鬼怒川温泉駅前広場でけんちゃん汁やゆずの無料配布が行われ、駅前にある足湯もゆず湯風呂になりました。雨が降る肌寒い日でしたが、多くの観光客が訪れ、けんちゃん汁や足湯で体を温めていました。



ゆず湯風呂キャンペーン



1月4日(日)、日光二荒山神社中宮祠で武射祭が行われました。かつて男体山の神と赤城山の神が争った故事に由来するこの神事では、境内の上神橋から赤城山の方角に向かって矢を放ちます。初めに吉田健彦宮司が「やあー」の掛け声とともに矢を放ち、その後、神職、県弓道連盟の方約20名が続いて矢を放ちました。

放たれた矢を拾った方たちは、神社でお守りを付けてもらい、大切に持ち帰っていました。

武射祭



12月13日(土)、安全で安心なまちづくり推進市民大会が日光総合会館で開かれました。

大会の冒頭に、事件から3年が経過した女児殺害事件の被害者である吉田有希ちゃんの冥福を祈って、参加者全員が1分間の黙祷。

その後、今市、日光の両警察署から交通事故や犯罪の発生状況などの報告があり、有希ちゃんの事件についても、どんなに小さな情報でも良いから提供して欲しいと呼びかけました(写真①)。



また、元NHK解説委員の伊藤和明さんが「近年の地震災害に学ぶ」と題して講演を行いました。

新潟地震による地盤の液化化現象や、岩手・宮城内陸地震による地すべり、新潟県中越地震による建物の損壊などについて、いつ起こるか分らない災害に備えるため、過去の事例を用いながら解説しました(写真②)。

安全で安心なまちづくり推進市民大会



12月13日(土)、第3回日光市駅伝競走大会が開催され、一般の部は日光総合会館(写真①)、中学生の部は豊岡運動公園をそれぞれスタートし、市役所本庁舎のゴールを目指してたすきをつなぎました。

7チームが出場した一般の部・支部対抗では、藤原支部が単独チームとして初出場(写真②)。同じく初出場の大沢支部(写真③)が、7区間中4区間で区間賞(区間1位)を獲得し、優勝しました。

大沢支部で5区を走り、区間賞(区間新)を獲得した倉沢ありさん(宇都宮文星女子高校1年)は、「調子が良くて自信もありましたが、区間賞が獲れて嬉しいです」と話してくれました。

14チームが出場した一般の部・オープンでは宇都宮自衛隊Aが優勝、また10チームが出場した中学生の部では、6区間中5区間で区間賞を獲得した今市中学校Aが、3連覇を達成しました。



市民朝市最終回



12月14日(日)に、最後の市民朝市が開催されました。市民朝市は旧今市市の市制20周年を機に昭和49年11月から始まり、県内で一番古い歴史がありました。最終回となった40回目の朝市には、出店をやめていた数店も最後ということに参加し、計28店が出店しました。当日は前月の5倍以上の来客者

があり、午前6時30分の朝市開始と同時に、実行委員会が用意した紅白のもち200個と大根100本が最終回を惜しんで訪れたお客さんに無料で振る舞われました。

訪れたお客さんからは、「終わるのは残念」との声が多く聞かれました。また、出店者の方は、「今回で終わるのは寂しいけど、このご時勢では仕方ない。いつも今日ぐらい人が来れば続けられたかもしれないけど」と話してくれました。



大根の無料配布の様子。



昭和49年11月の第1回の様子。

今月の表紙

成人式

1月11日(日)、日光市では、1,095名の方が成人式を迎えました。市内5つの会場に分かれて行われた式典には、合わせて885名が出席。新成人として門出を祝うとともに、誓いを新たにしました。

晴れ着などで華やかに着飾った新成人の皆さんは、久しぶりに会う友人との話に花を咲かせたり、みんなで写真を撮ったりと、楽しい時間を過ごしていました。

また、今市地域では、中学校の卒業アルバムから作成したスライドショーや中学校時代の先生からの思い出話(写真①)。日光地域では、日光吹奏楽団による演奏(写真②)。藤原地域では、中学校時代の先生からのお祝いの言葉やスライドショー、中学校卒業時に埋めたタイムカプセルの開封(写真③)。足尾地域では、あかがね太

